

周防大島町からプロ野球選手誕生

しみずゆうし 清水優心さん（西方出身）

九州国際大学付属高等学校 3年 捕手



10月23日に行われたプロ野球ドラフト会議において、西方（長崎）出身の清水優心さんがドラフト2位で、北海道日本ハムファイターズに指名されました。周防大島町出身の方がドラフトで上位指名されることは初めてです。今年8月の帰省時に、「プロ野球への思い」などをインタビューしましたので、その内容を掲載します。

野球を始めたきっかけを教えてください。

小学校2年生の時に、上級生に誘われて東和ソフトボールスポーツ少年団に入団しました。始めたころは外野を守っていましたが、5年生の時からキャッチャーをしています。中学の時は岩国ボーイズという硬式野球のチームで練習をしていました。キャッチャーというポジションはピッチャーと協力し、抑えた瞬間が楽しいです。野球はスポ少時代の松本監督や父などに、基礎を教わりました。よく家族でキャッチボールもしていました。

なぜ九州国際大学付属高等学校へ進学を決めたのですか。

中学3年生の時に夏の甲子園、九州国際大学付属高校の試合を見に行き、その時に自分も九州国際大学付属高校で、甲子園へ行ってみたい気持ちになりました。高校時代は監督からキャッチャーの配球などを教わり、勉強になりました。練習はきつかったですが、進学してよかったですと思います。

周防大島へはどのような印象がありますか。

大島は北九州市とは違い、自然が豊かで空気がおいしいので、落ち着きます。今年8月の甲子園では大島からたくさんの方々が応援にかけつけてくれて、うれしかったです。帰省すると、友達や知り合いの方が『甲子園

観たよ。がんばってたね。』とか声をかけてくれたのでうれしかったです。父、母にはいつも福岡まで試合を見に来てくれて、感謝しています。

プロ野球への思いを聞かせてください。

自分が夢であったプロ野球選手になることになったら、体力づくりをしつかりして、リード面を勉強し、早く一軍でプレーできるように努力したいと思います。プロのピッチャーと対戦するのも楽しみです。目標は守れて打てる捕手です。応援よろしくお願ひします。



清水優心プロフィール

城山小学校・東和中学校を卒業し、高校は九州国際大学付属高校へ進学。3年生の時には4番でキャプテンとしてチームを引っ張り、九州国際大学付属高校を3年ぶりの夏の甲子園（第96回全国高校野球選手権大会）へ導いた、強肩強打の捕手。

データ：185 cm・88 kg 右投げ右打ち
高校通算 35 本ホームラン、遠投 110 m
2塁送球タイム 1.8 秒台（※取材時）

小学生時代、清水選手を指導した松本浩行さん（和田）（元東和ソフトボールスポーツ少年団監督）



小学生当時から清水くんは、ボールを遠くまで飛ばし、レベルが高かったです。周防大島町からプロ野球選手が誕生することはとてもすごいことです。皆さんに愛されるプロ野球選手になってほしいです。